

2022年度 事業報告

2023年3月31日現在

公益財団法人 佐倉国際交流基金

2022年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講座（佐倉市と共催）を2回開催

公開講座1 「言葉と文字と絵の怪しい関係～

Artdirection, Graphicdesign, Typography」

東京 TDC 理事長 JAGDA 理事 アートディレクター浅葉克己氏

日 時：6月18日（土）13時30分～15時30分

来場者：170人

場 所：佐倉市民音楽ホール（臼井）

珍しいスライドとユニークな話術を交えての講演であった。

公開講座2 「中国社会の本質を衝く」

東京大学大学院総合文化研究科 阿古智子 教授

日 時：9月17日（土）13時30分～15時30分

来場者：267人（一般162 文大受講者78）

場 所：佐倉市民音楽ホール（臼井）

2) 佐倉市国際文化大学

受講生募集は計画に沿って4月に行い、5月開校、22回講座（うち2回は上記公開講座）を実施。

市施設の利用基準、安全対策を遵守し、11月26日の修了式を無事に迎えることができた。

講座日程と内容

講義日時間	講義内容	講 師	教室等
5月15日(日)	開 講 式 講座：バイデン大統領のアメリカ政治 オリエンテーション	上智大学総合グローバル学部 教授 前嶋 和弘 大学事務局	中央公民館
5月21日(土)	移民の多様性と活力、社会包摂から 社会的統合へ	国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長 是川 夕	中央公民館
5月29日(日)	少子化加速を止める社会改革を	明治大学政治経済学部 教授 加藤 久和	中央公民館
6月5日(日)	キノコって何だ！！	国立科学博物館植物研究部 研究主幹 保坂健太郎	中央公民館

6月12日(日)	日本は現役世代が希望を持ってない社会なのか	テンプル大学ジャパンキャンパス 准教授 堀口佐和子	中央公民館
6月18日(土) (公開講座)	～言葉と文字と絵の怪しい関係～ Artdirection,Graphicdesign,Typography	東京 TDC 理事長 JAGDA 理事 アートディレクター 浅葉 克己	市民音楽ホール
6月26日(日)	展示会プロデューサーの仕事	東映株式会社事業推進部 シニアプロデューサー 西澤 寛	中央公民館
7月2日(土)	事件・皇室取材で出会った人々	時事通信社元社会部長 フリー編集者 松永 努	中央公民館
7月10日(日)	原発の安全性に「絶対」はない	元東芝原子炉格納容器設計技師 原子力市民委員会委員 後藤 政志	中央公民館
7月16日(土)	メルケル政権後のドイツ政治	東京大学大学院総合文化研究科 教授 森井 裕一	中央公民館
7月24日(日)	陶芸の過去と現在・美術陶芸とクラフト	株式会社寺田プランニング 代表取締役 寺田 泰典	中央公民館
7月30日(土)	文化財保護先進地にみる 「古代東国の古墳文化」	明治大学文学部史学地理学科 准教授 若狭 徹	中央公民館
9月3日(土)	頭脳立国 イスラエルに学ぶ	日販グローバル株式会社 代表取締役社長 米山 伸郎	中央公民館
9月11日(日)	現代貨幣理論(MMT)とは何か 政府債務と金融システム	成城大学社会イノベーション学部 教授 後藤 康雄	中央公民館
9月17日(土) (公開講座)	中国社会の本質を衝く	東京大学大学院総合文化研究科 教授 阿古 智子	市民音楽ホール
9月25日(日)	変貌する世界経済と日本の役割 —CPTPPの行方は—	杏林大学総合政策学部 名誉教授 馬田 啓一	中央公民館
10月1日(土)	能の仕組みと魅力を知る	野上記念法政大学能楽研究所 所長 山中 玲子	中央公民館
10月15日(土)	オランダ農業はなぜ強いのか	農林中金総合研究所食農リサーチ部 主事研究員 一瀬 祐一郎	中央公民館
10月22日(土)	中国近代化を巡る思想家たち —アジアとの関連で	アジア研究者 元拓殖大学国際学部 教授 岩崎 育夫	志津コミセン
11月5日(土)	落語の歴史と技 お笑いを一席「演目未定」	公益財団法人落語芸術協会 真打 雷門 小助六	志津コミセン
11月12日(土)	ゼミ自由研究成果発表会	ゼミ研究グループ	志津コミセン
11月26日(土)	講座：人口動態と経済覇権、安全保障 修了式	防衛省 防衛研究所 特別研究官 小野 圭司	志津コミセン

3) 佐倉国際スピーチコンテスト (佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援)

コロナ予防に配慮の上、10月23日(日)ミレニアムセンター佐倉において開催、今回は年齢制限は設けなかった。

開始は10時、終了は午後4時半、午前を小学生、午後を中学生以上の時間にあて実施。参加者は小学生19名 中学生以上23名であった。

参加者から、発表内容、結果などについてのコメントが欲しいとの提案があり、次回からこの点を組み入れることを考える。

4) イングリッシュサロン

ファシリテーター（進行役外国人）2名により、水曜日、金曜日に開催。計画通り5月に開始、各クラスの定員はいずれも11名。参加者は合計82名であった。

2022年度から同一教場確保を優先した方法（水曜日5クラス 55名、金曜日3クラス 33名）で運営している。

学習、内容レベル等の問い合わせがすくなくないことから、次年度向けに教室風景の動画をホームページに載せた。

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型]〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。

2022年度の助成金応募団体の活動は低調で以下の1件のみであった。

団体名	事業名	申請金額	支給金額
佐倉中文会	中国語の学習および中国との交流活動	7,000	7,000
	合 計	7,000	7,000

(助成金合計 7,000 円)

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

原則として佐倉市内に住む外国人に対して、日本語の日常会話力（入門・初級・中級）の涵養、及び日本人とコミュニケーションする場の提供、そして外国人の児童・生徒のための日本語学習を行う。

計画通り4月より授業を開始することができた。

2020年度開講の小中学生向けの新しいクラス（AIUE さくら志津 毎週水曜日）は順調である。今期予定していた根郷地区の新規教室は10月より、根郷公民館において開講し、現在学習者も10人近くに増えている。

11月20日(日)の「日本語講座のつどい」を中央公民館 大ホールで3年

ぶりに開催した。スピーチ、パフォーマンスそれぞれ8件あり、参加者も100名を超え盛況であった。

開講クラス

- ・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）
*但し、ベビーシッターも再開
会場：志津コミュニティセンター
- ・毎週金曜日（夜間 1クラス）
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日（午前 1クラス）
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・毎週日曜日（午前 合計4クラス）
会場：中央公民館

小中学生対象クラス

- ・毎週水曜日（午後 1クラス）
会場：志津公民館
- ・毎週土曜日（午前 合計2クラス）
会場：千代田・染井野ふれあいセンター
会場：根郷公民館（22年10月より）

2) 外国人のための生活相談

スペイン語、英語、中国語の相談員、合計5名と交流基金事務局員3名により、電話及び面接による相談を受けるとともに、学校や病院での通訳、あるいは子育て支援、文書の翻訳などの外国人支援活動を実施している。相談のみならず、佐倉市担当部課と協力して外国人への直接支援活動も行っている。

相談員交流会議を毎月実施、予定通り4月より開始した。

- ① 活動報告
- ② 佐倉市のおしらせ記事選択、編集、発行
- ③ 生活相談員のための講習、学習会 今期の主たるテーマは「アフガニスタンについて」

3) ウクライナ避難民生活支援

ウクライナ避難民生活支援として、市営住宅入居のしおり、生活ガイドの作成を行った。

いずれもウクライナ語、ロシア語に翻訳した。

生活ガイドは詳細版と、ダイジェスト版(A3厚紙 三つ折り)を作成し、利便性を高めるためにQRコードを具備した。

相談・支援件数：123件

内容別件数：日本語(94)、医療・保健(2)、日常生活(2)、子供(25)、

言語別件数：日本語(88)、スペイン語(14)、英語(15)、中国語(3)

その他(1)

(注) 1案件に複数の相談内容があるので、件数に差異がある。

主な生活相談・支援 (支援した外国人の国名)

- 4月 日本語学習問い合わせ(中国3、アフガニスタン3、ネパール1)
保育園等、教育機関と保護者間の通訳(カメルーン1、ペルー1)
- 5月 保育園等、教育機関と保護者間の通訳(ペルー2)
日本語学習の相談(ネパール1)
- 6月 日本語学習の相談(アフガニスタン7、中国2、ペルー1)
保育園等、教育機関と保護者間の通訳(中国1、カメルーン1)
保護者会の文書翻訳(ペルー1)
- 7月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン6、中国2、ネパール、
パキスタン、ポリビア、ペルー各1)
小学校、中学校と保護者間の通訳(ペルー2)
幼稚園と保護者間の通訳(カメルーン1)
- 8月 日本語学習問い合わせ(ロシア1、バングラディッシュ1、ネパール1)
- 9月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン3、パキスタン2、ネパール1)
保護者会の通訳(ペルー1)
保護者会の文書翻訳(ペルー1)
文書翻訳(アフガニスタン1、英語圏1)
- 10月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン2、中国2)
小学校保護者会の通訳(ペルー1)
社会福祉協議会での通訳(メキシコ1)
- 11月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン5、中国1、ベトナム1、ミャンマー1)
- 12月 日本語学習日程、レベルなど(アフガニスタン2、韓国1、ミャンマー1)
- 23年1月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン5、中国1、ベトナム1、アメリカ1)
1歳半検診時の同行(アフガニスタン1)
中学入学説明会通訳(中国1)
高校生の保護者宛て文書翻訳(ペルー1)
- 2023年2月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン8、ペルー1、ベトナム1、アメリカ1、
フィリピン1、ボスニア1、不明1)
保育面談通訳(中国1)
小学校入学準備の説明(カメルーン1)
中学校の3者面談での通訳(ペルー1)
病院同行(パキスタン1)
- 2023年3月 予防接種、クリニック受診(アフガニスタン1)
病院同行(アフガニスタン1)
日本語学習問い合わせ(アフガニスタン1、スリランカ1、ベトナム1)

上記、生活相談に加え、情報発信を強化するために「こうほう佐倉」を情報ベースに、「佐倉市のおしらせ」を1回/月のペースで発刊している。
これは、やさしい日本語を用い、外国人にもわかりやすい内容で、2021年度より広報課から各公民館などにも配布されている。2022年度は累積31号まで発行した。

4. その他

1) 機関誌の発行

基金レターズを発行（7月および12月に発行）、事業の実施状況、賛助会員、ボランティアの活動などについて紹介した。

2022年7月発行

主な記事

ウクライナ避難民への支援準備について

日本語講座A I U E さくらの受講生からのお便り

イングリッシュサロンへのお誘い

外国人のための日本語講座

新しくなったスピーチコンテスト

国立歴史民俗博物館、D I C川村記念美術館の催し物紹介

2021年度事業報告・収支報告

2022年12月発行

主な記事

半世紀を目指す「佐倉市国際文化大学」

第33回佐倉国際スピーチコンテストの報告

第4回日本語講座のつどい報告

国立歴史民俗博物館、D I C川村記念美術館の催し物紹介

外国人のための生活相談

2) ホームページの活用

基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

<参考資料>

1. 賛助会員数

賛助会員数

個人	194
団体	6
法人	10
学生	0
外国人	2

2. ボランティアバンク登録者

直近3年間 言語ボランティア登録者

年度	2020	2021	2022	合計
日本語	9	8	10	27
英語	2	7	5	14
スペイン	1	1		2
ポルトガル				
中国		1		1
フランス			1	1
インドネシア				
ロシア		1		1
タイ				
スウェーデン				
ドイツ	1			1
韓国	1			1
タガログ				
イタリア				
スリランカ				
他			3	3
計	14	18	19	51

直近3年間 業種ボランティア登録者

年度	2020	2021	2022	合計
ホームステイ ビジット	1		2	3
イベント手伝い	4	6	5	15
ベビーシッター		1	4	5
車		1	3	4
その他		3	2	5
計	5	11	16	32

(注)1案件に複数の登録内容がある場合、合計と案件の計が違ってきます。

3. 役員、評議員に関する事項

役員（理事・監事）（2023年3月31日現在・敬称略）

役員名	氏名
理事長	宍倉 昌男
副理事長	熊谷 隆夫
常務理事	安藤 忠男
理事	下條 義昭
理事	鈴木 博
理事	今村 公蔵
理事	高橋 満
理事	橘 正明
理事	山岡 みち代

監 事	石 渡 孝
監 事	松 井 駿 介

評議員 (2023年3月31日現在・敬称略)

	氏 名
評 議 員	岡 村 美 智 子
評 議 員	西 谷 大
評 議 員	佐 久 間 文 麗
評 議 員	角 田 和 弘
評 議 員	長 谷 川 稔
評 議 員	藤 崎 言 行
評 議 員	堀 川 義 勝
評 議 員	山 田 朝 子

任期：理事、監事、評議員いずれも2023年の評議員会まで

役員会等

第1回通常理事会 5月13日

- ・ 第1号議案 2021年度事業報告について
- ・ 第2号議案 2021年度決算報告について
監事より監査結果の報告
- ・ 第3号議案 2022年度助成金交付について
- ・ 第4号議案 2022年度評議員会開催について

報告事項 業務執行理事の業務報告

定時評議員会 6月10日

- ・ 第1号議案 2021年度事業報告について
- ・ 第2号議案 2021年度決算報告について
監事より監査結果の報告

報告事項 2022年度事業計画・予算について
2022年度助成金交付について
評議員選定委員会規則改訂について

第2回通常理事会 3月10日

- ・第1号議案 2023年度事業計画について
- ・第2号議案 2023年度事業予算について
- ・第3号議案 2023年度資金調達及び設備投資の見込み

報告事項 業務執行理事の業務報告

第1回三役会 4月16日

- 2021年度事業報告について
- 2021年度決算報告について

臨時三役会 6月3日

令和4年度ウクライナ避難民生活支援委託」業務の受託

第2回三役会 7月8日

- ウクライナ事業の進捗
- 文化大学受講者数確保の方策について

第3回三役会 9月15日

- ウクライナ事業の進捗
- スピーチコンテスト、日本語講座、生活相談事業の進捗
- 文化大学の体制について

臨時三役会 10月12日・12月5日

交流基金の今後の体制、運営について

第5回三役会 2月6日

- 22年度事業報告、決算などについて
- 23年度事業計画、予算などについて

4. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
2022年4月1日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	2,251,000円
2022年6月10日	佐倉市	ウクライナ避難民生活支援事業	342,000円

5. 寄付金、協賛金等

協賛金ご協力者 (敬称略)

氏名	金額	協賛いただいた事業
佐倉ライオンズクラブ	20,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ロータリークラブ	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
DIC 川村記念美術館	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益とした。

6. 公益法人としての諸手続き

- 2022年6月22日 公益法人定期提出書類
2021年度事業報告、決算などの電子申請
- 2023年3月23日 公益法人定期提出書類
2023年度事業計画、予算などの電子申請

以上